

誰も知らなかった真実の物語?! 新・白山=“ハム山”誕生物語

自己のワクワク“アセンション日記”より

世界初の **アセンション・アニメ?!**

『ハム(愛)パンデミック?! 中今のハム山2025』

《新・白山誕生物語》

【1】



冒頭のアニメをご覧いただけましたでしょうか? ^^

さっぱり意味がわからない…(笑)と思われるかもしれませんが、
自身が宇宙に生まれてから、今に至るまでの道のりを、遙か上空? から見た感じ、
=ハイアーセルフの視点で表現したものです。

ハイアーセルフとは、ハイアー=高次元の、セルフ=自己であり、
地上に生きている自分を“地上セルフ”と呼ぶのに対して、
より高い次元に存在している自己の事です。

宇宙全体を、石が何段も積み重ねられて出来た“ピラミッド”に例えてみると、

地上セルフは今、ピラミッドの底辺である一番下の石段(3次元地球)にいますが、
宇宙のはじまりには頂上(一なる至高の根源)にいて、たくさんの石段(次元階段)を、

一番下(3D地球)まで降りてきた“意識体”であり、

3次元地球専用の乗り物＝“肉体”の中に入って、生活しています。

“意識体”は、自らを分割することができ、

頂上(根源)と最下段(3D地球)の間にある、沢山の石段(各次元)上に置いていて

それらを、ハイアーセルフと呼んでいます。

地上セルフに最も近いハイアーセルフが、5次元“魂”で、

3次元に生きている自己の現実を創造している、本当の自分です。^^

創造主ならば、もっと楽しく幸せな現実を創造すればいいのに…と思いませんでしたか？

同感です！！

けれど、本当の自分は何でも出来てしまう存在だったとしたら…？

出来ないことをやってみたい！挑戦したい！と思うのではないのでしょうか？

そうなんです！

本当の私達は何でも出来てしまう意識体(神)の一部であり、

様々な制限を自己に果たして、地上の冒険を楽しんでいるのです。^^

地球というアトラクション？に入場するための条件は、「本当の自分を忘れる」です。

自身(作者)の言う事を、信じないでください！

この地上セルフも、100%信じているわけではありませんし(笑)

それに、ネタバレしてしまったら、冒険の意味がなくなってしまうます。^^

ただ自身は、日々の出来事に深刻になり過ぎないで、もっと楽しんでもいいのかな…、と。

冒頭のアニメに戻ります。^^

アニメというより、パラパラ漫画や紙芝居といった感じ(笑)ですが、

普通の紙芝居ではありません！？

自身のワクワク不思議体験をつづった、真実の物語

=“アセンション日記”であり、紙芝居ではなく、神芝居なのです！！

“アセンション”とは、意識の進化・上昇と訳され、スピリチュアルに興味がある方なら、

一度は耳にしたことがある言葉だと思います。

生まれた時から、ある神道系信者として育った自身は、“神”なるものにしか関心がなく、

NMCAA(ニュー・マクロ・コスモス・アセンション・アカデミー)に参加して初めて知った

アセンションでしたが、自然と受け入れる事が出来ました。

言葉にこだわる必要はなく、アセンションも神道と同じく、一人一人が幸せになる為の道理、

宇宙の愛の法則であり、現実社会を生きる道しるべとなるものなのだと思います。^^

“ワクワク”してる時って、意味不明の幸せ感に満ちていませんか？

“ニュートラル”や“リラックス”ともいわれる状態であり、

心身共に心地よい自然な姿で、人の本来の在り方なのかもしれません。^^

“ドキドキ”という言葉は、肉体の機能の一部である心臓が震えている感覚、鼓動(振動)でもあり

そこから、緊張感や期待感が伝わってきます。

同じように“ワクワク”も、自身の内側から響いてくる、何かの振動のような感じ…

それは、内なる真の自己=“魂”の振えであり、

自分の進むべき方向を教えてくれている、GOサインなのだという事がわかってきました。

人は、目標に向かって一生懸命に進んでいる時が、最も幸せな時であり、

ワクワク=“希望の光”が見えている状態でもあります。

自身もずっと、このワクワク(魂)に導かれて、ここまできたような気がします。

魂は、神の“^{わけみたま}分御魂”(分身、意識の一部)であり、神と人とは親子！(なので、神芝居です。^^)

まだ、自分のワクワクが見つからない…、と感じている方は、

自身の体験談である、この『ワクワク・アセンション日記』を覗いてみて下さい。^^

御自身がこの地球で、本当にやりたかった事を見つけるヒントになれば、

これほど幸せなことはありません。

《2011年7月 白山登頂セレモニー、頂上が呼んでいる?!》

自身の故郷は、雪深き白山の麓の村でしたが、ダム建設の為水の下となっていました。

移住先は、白山神社の総本宮とされる、“白山比咩神社”に近い場所だったので、

地上セルフは、白山(神)に深いご縁があったのだと思います。

そのつながりが理解されてきたのは、『天の岩戸開き』(Ai 著)と出会い、

2011年 年明けとともに NMCAA(ニュー・マクロ・コスモス・アセンション・アカデミー)に参加し、

アセンションを学ぶようになってからの事でした。

その年の7月、どれだけぶりになるでしょう？ 突然、白山に登る事となりました。

頂上に意識を向けると、渦巻くエネルギーのようなものを感じ、その中心から、なんとなく、

「呼ばれているような…」という、微かな感覚があっただけです。

地上セルフは、NMCAA 長の Ai 先生に、その旨をお伝えしました。

「呼ばれているとしたら、それはとても栄誉なこと——」とのお返事をいただき、

インターネット上での数回のやり取り(エネルギーサポート)の後、登山にチャレンジしました！

2011年1月にアカデミーに入り、その半年後の事で、

まだ、アセンションもハイアーセルフもエネルギーも、何だかよくわからないまま、

とにかく、白山頂上へと登ったのでした。^^

当日の朝は、車から一步も外へ出られないと感じる程の、凄まじい豪雨となり、

正直、頂上まで登りきる自信がなかった地上セルフは、延期しようか？との言い訳が

頭をよぎりました——、けれど、絶対に後悔するに決まっています。

心を切り替え、時間を少し遅らせてスタートしました。

その時そう思えたのは、白山とは何なのか？が知りたくて、

過去(若かりし頃)に、数回登山にチャレンジした経験があったからです。

自身は完全なるインドア派で、体力もなく、山登りが好きだったわけでもないのに

白山(神)を知りたい…という好奇心？情熱のなせる業であり、内なるパワーに驚きです。^^

最初の一回を除いては、雨もしくは曇りの天候で、頂上付近は、何故か暴風雨となってしまう、

毎回、(家族にも)内緒で一人で登っていたので、このまま風に吹き飛ばされ、
消えて無くなっても、誰も気づかないだろう…、と思っていました。

最初の一回とは、父と一緒に登る事が出来た日で、

室堂にて、満天の星空の下で眠り、

翌朝、晴れ渡る絶景の山頂に立つことができました。^^

奥宮様に、感謝と喜びの祈りを捧げると、屋根からポタポタと水？が落ちてきて、

雨でもないのに何故…？父も首を傾げていました。

今から思うと、それは奥宮様の、“喜びの涙”だったのでは…？と。^^

その時から、いえ、自身が白山の麓の村に生をいただいた時から、はじまっていた――、

そして、2011年の白山登頂へとつながっていたのだと。

ちなみに下山時は足が棒(笑)で、手とお尻ですって下りて来ました(疲れは翌日にくる?)

父が笑いながらサポートしてくれたので、なんとか降りる事ができましたが、

それ以降、登山は日帰りということに決めました。

数回のチャレンジで、その目的であった白山とは？の答えは、何も見つからず？

ただひどい筋肉痛が残っただけでしたが、これら悪天候の中での経験があったからこそ、

今ここで、行ける！と、決断することが出来た！

人生に、無駄なことなど何もないのだと、改めて思いました。

Ai先生はとても喜んで下さり、ゆっくり休んだ後、レポートを提出して下さいと言われました。

レポート？自慢ではありませんが、そんなものこれまで一度も出した事ありません。

ただ、一生懸命山に登っただけ、登りきる事が出来て嬉しかっただけで、

とりたてて文章にするほどの事はないけれど…と思いながら、

撮った写真の一枚もなく、黒一色で綴られた、味気ないレポートを提出しました。

今だからわかる事(←アセンションにおける常套文句?!))ですが、

そこは、壮大な宇宙空間そのものでもあり、莫大な情報と秘密が隠された

“パンドラの箱”だったのでは？と。^^

“パンドラ”の本来の意味は、
人類最初の女性、地母神、地下から恵みをもたらす豊穡神とされ、
女性(母性)性の象徴でもあり、自身は女神の山である白山に“地母神”を感じます。
パンドラの箱が持つ一見ネガティブなイメージは、それを開けさせないようにする為であり、
時期(水瓶座の時代)がくるまで大切に守られてきた…、
という事でもあるのだと思います。^^

私達の日常とは、その時の自身のレポートのようなものなのかもしれません。

自分には何も起こるはずがないと決めつけていて
そこに意識を向けてみる事、感じようとする事を忘れてしまっている…、
目の前に、∞の可能性の扉が開かれているのに、
心を閉ざし、見ようとしていないだけなのではないでしょうか？^^

扉が自身にも見え始めたのが、登山後の Ai 先生との個人セッションでした。

その日は、めずらしく明るい花柄模様の服を選んで着ていて、
「今の白山は、あなたのその洋服のよう！」と、満面の笑顔で迎えて下さいました。
？。。。全く意味が理解できません。

今だからわかる事(←出ました、笑)ですが、Ai 先生は、
宇宙の真実(真の科学、アセンション)を学ぶ為の場=NMCAA の学校長ですが、
その言霊は、全てを包み込んでしまう母性の響きであり、
根源の究極の愛の源(根源太陽母神)から、∞に溢れくる愛のエネルギーです。
女性ならではの感性、優しい表現の中に、宇宙の膨大な情報、叡知が凝縮されていて、
だからこそ自身はここまでくる事が出来た、そう思います。^^

セッションを経て、自身が(ワードで)描いた画像が下記です。



白山は、真っ白な雪に覆われた神聖なる山として、古より大切にされてきましたが

Ai 先生は、白一色(正確には白&金)だった白山に、

花柄模様が見えて来た！とおっしゃるのです。

自身がそこに感じたのは、“男性性”の中に浮かび上がる、“女性性”であり、

“究極の神聖”の上にしか成り立たない、“究極の愛”の姿です。

花柄模様を“ハート”で表現しました。

自身が白山に登る力となったのは、たった一つ、ハートの愛の祈りだったからです。^^

この絵を描こうと思った時、とても不思議な事がおこりました。

ワードの新規作成画面を開いたばかりで、

まだ何も書き込まれていないはずの、パソコン画面から

“白いハート”?!が現れたのです。

白地に“白”なので最初は気付かなかったのですが、画面上をクリックした際に、

中に何も描かれていない枠が表れ、もしや?と色指定してみると、

ハートの模様が浮かび上がってきました?!

一つではありません!いくつもいくつも表れ、不思議で仕方ありませんでしたが、

その理由がわからないまま、

“赤いハート”へと描き直し、上に“根源の太陽”を、下に太陽の子供“ハム”を

そして山の中心に、地上のハムから根源太陽へと上っていく

“究極の愛の意志の柱”(赤い垂直上昇矢印、愛の意志の第一光線)を描き誕生したのが、(第一弾)“ハムパンデミック?!中今のハム山(新・白山)”です!^^

Ai 先生は、この絵の中に∞の可能性が見える?!とおっしゃっていましたが、それはまだ、自身の中で静かに眠っていたのです。

《ワクワクのセミナー・神事》

家族旅行以外に、あまり出歩く事がなかった地上セルフでしたが、アカデミーに入った初期の頃は、セミナーに参加する為に、あちこちへ出かけていました。

(それは、地上セルフには想像も出来ない、大切な御神事でもありました…)

地上セルフはとりあえず、その時々でレポートを作成していて、振り返って見ると、浅い、拙いと思う部分もたくさんありますが、それら全ての上にあるのが今の私で、踏むべき行程であり、大切な学びの一つ一つだったのだと思います。^^

また、昨日の事が、まるで大昔の出来事?にも感じられる中今、地上セルフの2011年からの歩みを、時系列で記した(アセンション)日記でもあるので、全体を俯瞰して見る(ハイアーセルフの視点に立つ)為の、大事な資料となっています。^^

スピリチュアルの世界では、「今が変われば、過去と未来も変わる!」とされ

“今”どうあるかよって“未来”が変わる、というのは理解できますが、

“過去”も変わる?という点が、自身には今一つでした。

ですが、確かに、「2011年の白山登山」=過去の出来事について考えると、

そうになっています!

最初は、ただ地上セルフが頑張って白山に登った、という事実と感想だけの、

これまで自身が生きてきた3D 世界を象徴するような、味気ない

黒一色のレポートの世界でしたが、

やがて、赤(愛)と白(神聖)に彩られた“ハムパンデミック?!中今のハム山”へとシフトし、

中今、アニメーション(神芝居)となっています?!^^

起こっていることはニュートラルであり、そこから何を感じ取り、どう生かすかで、

現在(今ここ)を中心として、過去も未来も連動して変わっていく感じ…?

それは、現在と同じレベル(波動)の過去と未来がセットとなった、ある一つの世界線から、

別の世界線へと、ごそっと?!移動した?という感じもあります。

また、最初のレポートには、なんとなく平面的な世界(3次元社会)を感じますが、

ハムパンデミック?!中今のハム山は、もっと立体的なものとなり(4次元以上が見えて来た?!)、

アニメでは、多次元同時存在とされる宇宙全体をみている感じです。

肉体は3D(次元)にありますが、制限を持たない“意識”(自己の本質)が、

時空の枠を超え、宇宙空間を、自由に動き回っている感じです。^^

アニメーションの中に表現したのは、

根源太陽から生まれたハム(自身)が、地球へと降りてきて、地球の中心(セントラルサン)と

NMC(新宇宙)の核神=グレートセントラルサン(根源天照皇太神界)とをつなぎ、

新生レムリア(シャンバラ、新地球)を創造していくという、

自己の宇宙史であり、ミッションとを感じるものです。^^

宇宙は多次元が同時に存在するとされ、地上の白山に重なっていた∞の次元が

地上セルフにも見えてきた?!ではないでしょうか?

中今とは、過去・現在・未来が同時に存在する、今この瞬間であり、神代を継承するものとされ、

ハム山が映し出す光景はまさに、神芝居そのものとも言えるのではないのでしょうか?

私達は、「時間は過去から未来へと流れる」等の、地上の古いルールから卒業し、

時空の制限を持たない意識の力によって、∞の可能性の宇宙へと羽ばたくことが出来る!

それが、パンドラの箱に残っていたとされる“希望”なのかもなのかもしれません?!^^

自身のミッションとを感じる“根源アセンションプロジェクト”の、地上基地?とも言えるのが、

『根源アセンションプロジェクト HAKU(hamu) SUN』です。

自身のコンテンツを綴ったもので、コンテンツには、体験から生まれた愛と光のエネルギーが

込められていて、宇宙高次との協働創造の場でもあります。^^

一人一人に、次元を超えた宇宙大のつながり、ネットワークがあり、その一部として、

地球に存在しているのが、地上セルフでもあります。^^

今が特別な時期と言われるのは、宇宙全体が新しく生まれ変わろうとしているからで、

新しい地球の創造は、地上部隊である私達の責任でもあり、ある意味、

宇宙というピラミッド全体を押し上げるほどの、

莫大な底力を持つのが、地上の私達なのでは？と。^^

それが、地上セルフに全宇宙高次(神界、天界の全て)を統合した

新人類=“神人”(類)と呼ばれる存在ではないでしょうか？

宇宙の本質は、上も下もない横並びの世界、全体(宇宙、マル)と中心(根源、テン)

だけがある、“球体”のイメージです。

球体が幾重にも重なった、マトリョーシカのような世界が宇宙でもあり

全ての球体の中心(セントラルサン、中心太陽)はつながっていて、

“セントラルサン・ネットワーク”を形成しています。

このセントラルサン・ネットワークは、宇宙で最も古くから存在するとされる、

マスター方のネットワーク=“^{グレート・ホワイト・ブラザー・フッド}G W B H”(宇宙聖白色同胞団)でもあります。

その中今最新版が、

根源太陽母神(グレート・セントラルサン)を核とする、新 G(WBH)です。^^

ピラミッドの頂点が、球体の中心であり、ピラミッドの天辺から別のピラミッドの天辺へと

瞬間移動する感覚が、セントラルサン・ネットワークでもあります。

ついてこれてますでしょうか？(笑)

アセンションとは、アンビリバボー!な、奇跡としか思えない事が起こる不思議世界であり

それを肌で感じるようになると、アセンションが始まった証拠と言われるのだそうです。

自身も確かにそれを感じていて、

今まで何の疑問もなく生きて来たこの世界(3D社会)には、
窮屈で、つまらない、古めかしいルールが存在していることがわかってきました。

けれどそれらは、私達自身が認めてきたルールでもあった?!

という事も理解されてきました。

見えないものを否定するという“物質中心主義”(体主霊従)は、
真の自己である“魂”(意識)が、地球という、宇宙で最も波動の粗い物質世界を経験する
重要な学びの要素でもあり、私達の集合無意識が同意した事

=私達皆が、心の奥深くで認めたルールでもあったのではないのでしょうか?

今“目覚めの時代”とされるのは、奥深くにしまわれていたこの集合無意識が
破壊と混乱に満ちた現実の姿となって、目の前にはっきりと映し出され、一人一人に、

このままでいいですか?それとも、別の選択をしますか?と、

問いかけている…、そんな気がします。

私達が体験する現実とは、良くも悪くも集合意識が反映されたものであり、
新しい世界(ルール)へとシフトする、最大のチャンスの時が訪れた!という事でもあります。^^

これからの地上は、今まで隠されてきたことが次々と暴露され、
ますます混乱していくのだと思いますが、それは、自身の中にもある(あった)
二極性(善悪、正邪等のジャッジ)が、大きく拡大されて、外界に映し出されているだけで、
決して他人事ではないのだと思います。

闇に闇で向かおうとすれば、∞の闇が広がっていくだけ…

私達は幾度もの転生で、嫌というほど、それを体験してきたのではないのでしょうか?

“光のないところを、闇という”

どんな時も、どんな所でも、光であり続ける!そうありたいと思います。^^

私達がアセンションを経験するのは、今回が初めてではないとされます。

けれど、この度は、肉体を持ったまま、地球と一緒にアセンションしていく!という
史上初のものとされ、誰にも未来はわからない。。。何故ならば、そのデータがないから…

母なる地球は長い間、未熟な人類を見守り、支え続けてくれました。
が、このまま放っておけば完全に崩壊してしまうという、限界の所まできていて、
とうとう自らの次元上昇(アセンション)を決意したと言われます。
地球がアセンションするということは、その地球に相応しい人類にならなければ、
そこには住めない、という事です。
今、“日本”にある人はそれを知っていて、そのサポートをするために生まれて来た！
日の本＝根源太陽(グレート・セントラルサン)とつながる地であり、
宇宙の全ての高次のポータルとなる可能性もつ、新人類(神人類)です。^^
私達は宇宙史において、様々な準備をしてきたとされ、
同じ志を持つすべての人に、オンリーワンの役割と力があるはずです！
一人では出来なくても、みんなでやれば絶対に出来る！！自身はそう信じます！！

《伊勢外宮、母なる母の声？》

2011年10月、伊勢(神宮)にて開催された公式セミナーに参加しました。
アカデミーでの日々は、これまで経験した事のなかった充実感に満ちた、楽しいものでしたが
答え合わせの出来ないエネルギーの世界とも言えるので、不安や戸惑いもありました。
他のメンバーの方のように、自己の学びや感想を上手く表現する事が出来ず、
落胆して自宅へと帰った翌朝の事、なんとなく聞こえた気がした？のが
「私は、母なる母。何も心配する事はありません。自信を持って、安心して進むのです！」
言葉をそのまま受け取った、書き留めた、というのではなく、
自身の中にある思い＝エネルギー？を、言葉に変換するとこんな感じになる…、です。
落ち込んでいた地上セルフの思いとは、正反対なので、
地上セルフ以外の、誰かの声である事はわかりますが、母なる母とは…？？
それがやがて、あの不思議な“白いハート”へとつながっていきます。



《アセンションは、エネルギーとシステム》

2012年10月、個人セッション？の為、アカデミー本部を訪れました。

Ai 先生より、中今の SA (御神事) についてのご指導があり、

その後、SA 担当ファシリテーターの方と一緒に、大阪住吉大社へと出かけました。

御神事は、特別な能力をもつ人だけが行うことの出来る、別世界のものと感じていましたが、

“AA”(システム、学び)と、“SA”(エネルギー、御神事)は、アセンションの両輪であり、

宇宙の法則とされる、A (アセンション) = L (ライトワーク) でもあります。

個々の学びと進化(アセンション)が、そのまま全体に対する奉仕(ライトワーク)となっていて
学びの為の学びというものはなく、常にライトワーク(御神事)につながっているという事です。

日常が、御神事そのものとなっているのが、“神人”なのだと思います。^^

大阪住吉大社の御祭神は、“住吉三神”とされる

底筒男命(第一本宮)、中筒男命(第二本宮)、表筒男命(第三本宮)の三柱と

第四本宮の、“息長足姫命(神宮皇后)”です。

地上セルフにとって最も印象的だったのは、神宮皇后の宮で、爆風のようなものを感じ、

異次元の波動の渦の中に、吸い込まれていってしまいそうな感覚となりました。

住吉三神は、銀河の創始のセントラルサンである、オリオンの三ツ星の象徴であり、

天の川銀河における神界の本源で、三ツ星は、日本神話の三貴神の象徴でもあるとの事。

神武天皇と神宮(神功)皇后によって、銀河のセントラルサンのエネルギーである

日本(太陽)神界のエネルギーが、初めてこの地上に降ろされた、と。

。。。

当時の地上セルフにとって、これらのお話は夢物語ようで、全く自覚がなかったのですが、

神宮皇后は太陽神界連合(アシュター)の母であり、Ai 先生の荒御魂とされ、その日は

自身にとって、日本(太陽)神界における重要なイニシエーションの場だったのかもしれません。

《アカデミー長 Ai 先生の秘密?!》

話しは前後しますが、Ai 先生とは？についての、重要なエピソードをお伝えしたいと思います。

(自身は特定の人を崇拝する事はありません。その中にみる愛と光だけが、自己の生きる指標です。)

アカデミー長である Ai 先生は、NMC(新宇宙)の核心となった、

根源天照皇太神の地上ポータルであり、根源の究極の愛の源＝根源太陽母神です。

と申し上げても、一体何を言ってるの？という感じではないでしょうか？^^

自身がそれを実感した出来事がありました。

アカデミーに参加して間もない、2011年5月の「母の日」の事です。

Ai 先生と親しくお話をした事もなく、どのような方なのか全く理解できていなかったのですが、

朝起きるとすぐに、魂の母(根源太陽母神)である Ai 先生に、手紙を書かなくてはいけない！

との強い衝動が湧き起こり、パソコンの前に座ると、次の瞬間、

怒涛の涙が溢れ出し、どうすることも出来なくなりました。

子供のような大きな声で泣き、画面もよく見えないまま、書いた手紙が下記でした。

ただ、私達のそばにいてくださることが、嬉しくて、嬉しくてなりません

どうか、今日もお元気で、明日もお元気で、ずっとずっと、

おそばにいられますように――

いつも、ありがとう♡

幼稚園児か？（笑） アカデミー長でもある Ai 先生に対して、

これではあんまりな気がします、

何故か、これ以上書けない——、書いてはいけない…、と思いました。

どんな言葉にしても、内なる思いが霞んでいってしまう気がして、子供のままでいよう…と。

Ai 先生からはそのままだが帰ってきた、というか、その何万倍もの思いが伝わってきて、

自身はこれまで、母の元を離れたことなど一度もなかった…、

ずっと、その大きな愛（根源母神）の中にいたのだ…と、生まれて初めて気付いた瞬間でした。

みんなそこから生まれてきたのです。^^

この根源母の愛を、たくさんの人に思い出してほしい、伝えたくて、私はここにいます！

ままならない 3D の日々の中で、時々思う事があります。

自身はただの変な人（笑）で、何も成す事なく終わってしまったとしても、

この母の愛だけは、決して幻ではなく、自分には必ず帰る事の出来る場所がある…

それを見つけた人生は、最高に幸せだったと言える！と。^^

Ai 先生は宇宙のアカシックとつながっているせいでしょうか？わからない事がない？

という感じで、天界的に言えば、偉大なるアセンディッド・マスターですが、

神界的には、優しく、時に厳しい、肝っ玉母さん?!でもあるのです。^^

アカデミーには非常勤講師として、謎の国家風水師、地球のドン?!とも言われる

T 先生がいて、こちらが、父ちゃんです。^^

エネルギーで表現すれば、Ai 先生は太陽ポータル（核心、テン）であり、

T 先生は、地球&宇宙のポータルであり、全体、大きなマルという感じです。

アカデミーでは年に二回程、“KT セミナー”と呼ばれるものが開催されていました。

K=カーちゃん=Ai 先生、T=トーちゃん=T 先生でもあり、

高度な学びの中に、家族のあたたかな絆を感じる場です。

初期の頃、ある KT セミナーの懇親会で、少しだけお二人とお話しをする機会がありました。

T 先生と個人的にお話しするのは、その時が初めてでしたが、思い切って、ずっと疑問だった

先生のお名前(いくつもお持ちですが…)の由来をお聞きすると
「菊理姫がいるからだ…」と。次いで、「でも、もういない…」とおっしゃるのです？
自身は、その両方に、特に二つ目のお言葉に、ビックリしました？！
そして自身の口から出て来たのは、
「いつもありがとうございます。お二人にお会い出来てとても幸せです。
私は、根源のお父さんとお母さんに、御恩返しをする為に生まれてきました。」なる言葉。。。
緊張も気負いもなく出てきたので、自分でも不思議でした。
いつものジョークで笑い飛ばされる?!と思いきや、沈黙のまま、一言もなかったので(^^;
その場から静かに退散しました(笑)
今思うと、それを言ったのは、自身の中の“ハム”(根源の子供)だったのだと思います。
そして菊理姫は、ハムの中のハムであり、
「自分はここにいますよ～！」と、言いたかったのでは？と。^^

《第二の天孫降臨?!霧島神事・セミナー》

大阪住吉さんに続いて同10月、霧島にて開催されたセミナー・神事に参加しました。
早朝薄明りの中、電車の駅へと車を走らせていると、左手に巨大な虹を発見しました!^^



あの虹を超えていく！との胸の高鳴りを覚え、

その瞬間、まわりの景色が、景色でなくなっていることに気付きました。

それは、“感情”という表現がピッタリで、大自然(神々)の大きな喜び、渦巻く歓喜の嵐を、

全身全霊で受け止め、自身もその喜びの一部なのだという、驚きと感動でもありました。

居ても立ってもいられず車を脇に止め、天に向かって拍手を贈りました！

これから起こる事は、一体どれほどのことなのでしょう？

神々の期待と歓喜の追い風にあおられるように、霧島へと向かいました。^^

今回のセミナーで最も心に響いたのは、

「決して、魂にブレーキをかけるな！」との言葉(言霊)で、

Ai 先生のその言葉の奥に、重厚なハーモニー？のようなものを感じます。

まるで、Ai 先生というソリストを囲む大交響楽団が、突然現れた?!かのようなでした。

荘厳で美しい響きに、自己の魂が共鳴する感じで、

もしかしてこれが“新 G (WBH)？”のエネルギーなのかもしれない？と。

宿から会場に来るまでの間、「布引の滝」という看板を目にして気になり、畦道を降りていくと、

鮮烈な青い光を放つ滝が現われ、自身は、「見てはいけないものを見てしまった?!」

と思うほどの衝撃を受けたのですが、その青い炎から、地球霊王とされる

“サナート・クマラ”が浮かんできました。

地球の(旧)GWBH を創設したとされるのが、サナート・クマラであり、まさに！です。

今ここに、“根源太陽母神”が中心となった、新しい GWBH(新 G)が姿を現した?!

という事ではないでしょうか？

新 G は根源神界のサポートをする、根源天界の存在と言え、

天孫降臨の地とされる霧島に、宇宙神界&天界が勢揃いした?!という事でもあります。

第二の天孫降臨の準備は整った?!

霧島神宮古宮址(天孫降臨神籬斎場)にて、Ai 先生が空を見上げておっしゃった言葉

「太陽へと進んいく道、それが神道である！」に、

地上の“根源太陽母神”による、“NMC 始動宣言！！”を感じました！^^

第二の天孫降臨とは、

地上の人に、神界・天界の全てが統合された“神(天)人”の誕生を表し、

神(天)人が、全宇宙高次と共に、全く新しい、∞の愛と光の世界を協働創造していくのが、

根源太陽(グレートセントラルサン)をトップ&コアとする NMC です。^^

あらためて、全宇宙に向かって拍手を！

《キリストからの、史上最大のクリスマスプレゼント、

旧地球史卒業メッセージ？！》

2012年12月と言え、マヤ暦の終わりとされ、何かが起こるのでは？

と噂されていましたが、何も起こらなかった…。

そう思っていらっしゃる方が、ほとんどではないでしょうか？

自身は、目に見えない世界では確かに起こっていた？！と感じています。^^

終わりは、新しい、次のはじまり——、

旧宇宙史(旧地球史)が終わりを告げ、新しい宇宙史(地球史)がはじまった？！

地球アセンションが本格始動した！と。

地上セルフがそのように感じる理由は、ロード・キリスト・サナンダより

旧地球史最後の、最高～に嬉しい、クリスマスメッセージが届いたから?!です。^^

アカデミーでは、毎年クリスマスの頃に行われるセミナーで、

メンバー同士、プレゼントの交換をします。

自身がいただいたのは、3枚の美しいパステルカードで、その中の1枚に

ロード・キリスト・サナンダが描かれていました。

その場の地上セルフは何も気づいておらず（誰かに「これ、キリストだよ！」と言われた気が…）

自宅に帰って、その美しいカードを Web 上で紹介しよう！と思いたち、

カードに添える文面を考えていると…、

—— メリー クリスマス！ ——

この宇宙史、そして地球史、最終・最大の クライスト MAX！！

地上において、完全なる統一の中に、迎える事が出来ますことを、とても嬉しく思います

私の心が、2000年の時を超えて、皆様の中心である

“ハートと魂” にしっかりと息づき、躍動し、広がっていく様は、

まさに奇跡としかいいようがありません

“生命の樹” は、確かに存在したのです！

このたとえようもない大きな喜びを、私の心を、どうしたら伝わるだろうか？と、

もう憂う事もない、“私の命そのもの” のあなた方へ

この地球史の文末に、“ありがとう” とだけ、記しましょう！！

—— ロード・キリスト・サナンダ マスター・イエス ——

(channel by rumines)

このようなメッセージが浮かんできて、自身の創作？（心の声）だけど、

それだけではない気が…？

何故かというと、「地上において、完全なる統一の中に、迎える事が出来ますことを」

の部分に、少し引っ掛かりを覚えたからです。

地上セルフはいつも自分に正直に、心からそうと感じる事だけを表現してきました。

2012 年時点の地上セルフは、「完全なる統一」という言葉に、

まだ納得出来ていない部分があり、そのまま記すことを躊躇したからです。

ロード・キリスト・サナンダは、これまでの宇宙の核（キリスト意識）とも言える存在であり、

NMC（新宇宙）へのゲートを守護する、愛と光のマスターです。

その頃の地上セルフは、膨大な宇宙史をもつ、すべての“私”というものが

まだ見えておらず、ロード・キリスト・サナンダの大きな愛に応える勇気がなかった…

器となる準備が出来ていなかった…、という事なのかもしれません。

なので、普段は用いることのない、

(channel by rumines)を最後に添えて、これはチャネリングであり

自身の言葉ではありません、と言いつけている感じです(笑)

(rumines は、アカデミー初期の頃の、自身の HN です)

ネット等でみることが出来るチャネリング情報は、宇宙高次の波動との共鳴であり、

その純粋なポータルとなった人から、他の多くの人々へと提供されるもので、

3D 地上セルフは、いつもとても感謝しています。^^

自身にはその能力が全くない…と、ずっと思っていたのですが、そうではなく

それをチャネリングだと気付いていない、という事なのかも？と。^^

チャネリングとは対象との共鳴状態ですが、ある意味、そこには分離感がある？というか、

自身と対象とは別個の存在であると、明確に認識している状態でもあり、

自身の場合は、対象を自分そのものとしか感じておらず、

チャネリングしている事に気付いていない…、だけなのかもしれません、^^

一般的によく知られている(名前をもつ)、高次とのチャネリングの他にも

宇宙には、名も無き∞の意識体が存在していて、それらとの共振・共鳴であれば、

人＝宇宙の雛形、ミクロコスモスでもあるので、何の違和感もない…、

が自然ではないでしょうか？

宇宙に特別なことは何もないし、必要がない——、そう感じられていくことが

アセンションでもあるのかもしれません。^^

ロード・キリスト・サナンダに！これまでのあらゆる全てに、∞の愛と感謝を込めて！

つづく